



台湾で国際交流



たかお ごふこくみん
高橋市立五福國民中學の生徒たちと

8月12日から16日までの5日間、国際交流研修事業（町の「未来を拓く人づくり推進事業補助金」を活用して実施）で、和寒中学校2年生18名が台湾を訪れ、現地の学生と交流を深めながら生活や文化の違いに触れ、貴重な体験をしてきました。

国際交流研修事業に参加してみても

中澤 莉桜

私はこの国際交流研修事業において、多くの事を学んだ。中でも一番考えさせられたのが、今まで私達がどれだけ楽をしてきたか、どれだけ周りの環境に恵まれていたか。ということである。まず、台湾に着いて一番最初に説明されたのが、ホテルの水道水は飲めない。ということであった。日本では、「水道水が飲めない」ということはありえない。これが一つ。次に、トイレトペーパーは基本的にゴミ箱に捨てる。ということである。日本ではトイレトペーパーは水に流すもの。捨てるなんて発想を持っている人はまずいないだろう。これも一つ。そして、私が一番驚いたのは、台湾は雨が降らないために水不足になることがよくある。ということだった。日本は水不足どころか、津波などの水害の方が良く聞く話である。水が足りなくなるだなんて、考えたこともなかったのだ。また、「私たちがどれだけ楽をしていたか」という話なのだが、これは学校交流をした時に思ったことである。現地の中学生は母国語である中国語、公用語である英語、加えて日本語と3ヶ国語を話せる生徒がほとんどであった。それに対し私達は、公用語である英語ですら十分に話すことができなかつた。現地の学生には申し訳なかつたし、とても恥ずかしかつた。初めて英語をしっかりと身に付けたいと思った瞬間だった。これからはこの事業で学んだことを生かし、忘れないようにして生きていきたいと思う。この事業に参加ができて本当に良かった。

※参加者を代表して中澤莉桜さんの感想を掲載します。

参加者全員の感想文集は公民館・図書館で閲覧することができます。

参加者 18名（敬称略）

安部 膳吾	加藤 優芽
小林 哉太	郷 志野
竹本 絢	阪口 七海
田中 翔太	丹野 亜蘭
中澤 莉桜	西川 紗希
中森 新飛	林 霞月
乗田真之介	藤井 望恵
半澤 翔吾	松村あいか
村岡 和雅	吉田 紗羽

引率

和寒中学校 中間靖之 教頭
 " 田中志保 教諭
 和寒町会計管理者 加藤真一

☆学校交流☆

日本でいう高校・専門学校の一貫校である樹人醫護管理専科学校と、同年代である五福國民中学の2校と交流してきました。



高橋市の観光スポットを教えてもらっているところ



樹人醫護管理専科学校の生徒とキーホルダーづくり



台湾の友人と別れの握手